



安全上のご注意

- お使いになる人々への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しております。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分して説明しております。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し説明しています。

記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

警告

仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがに原因になります。

交流100ボルト以外では使用しない
火災や感電の原因になります。

必要以上の分解は絶対にしない
火災・感電・けがに原因になります。

電気工事は、電気工事士がおこなう。
電気工事士以外が行うと、感電や火災・けがの原因になります。

注意

本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付ける
落下により、けがをする恐れがあります。

天井には取り付けない
落下によりけがをする恐れがあります。

浴室など、湿気の多いところに取り付けけない
感電や故障の原因になります。

本体を前後左右に傾けて取り付けない
モーターの寿命を縮める原因になります。

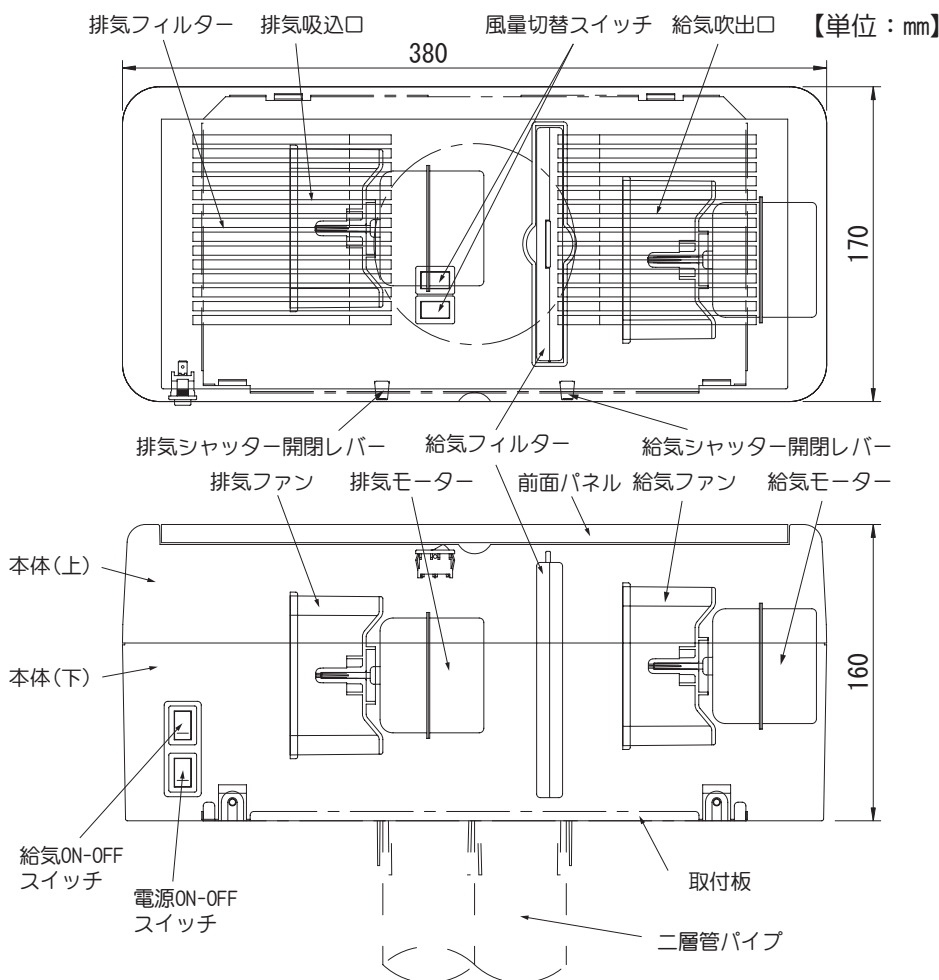
本体カバー・フィルターなどの部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

取り付け後長期間ご使用しない場合は、分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

お願い

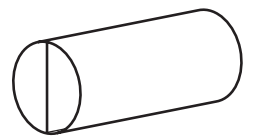
- 高温(40℃以上)になる場所には取り付けないでください。
製品の変形やモーターの寿命を縮める原因になります。
- 台所など油煙の多い場所や有機溶剤がかかる場所には取り付けないでください。
本体などの破損の原因になります。
- 取り付けは平坦な壁面におこなってください。
壁面の平面度によっては、本体が変形し、シャッターが動かなくなることがあります。
- パイプ取り付けをおこなう際、必ず屋外側に勾配をとってください。
勾配をとらないと、雨水が室内側に流れます。
- パイプフードと壁とのスキ間がないようにコーキング処理をしてください。
雨水侵入の原因になります。

各部の名前と寸法



【付属品】

二層管パイプ
φ100×250mm-1本



取付板壁面固定用ねじ
4×25-4本



取扱説明書-1冊
工事説明書-1枚
取付用型紙-1枚
保証書-1枚

【別売品】

●パイプフード(樹脂製)

型式
FDP-100W(ホワイト)
FDP-100B(ブラウン)
FDP-100K(ブラック)



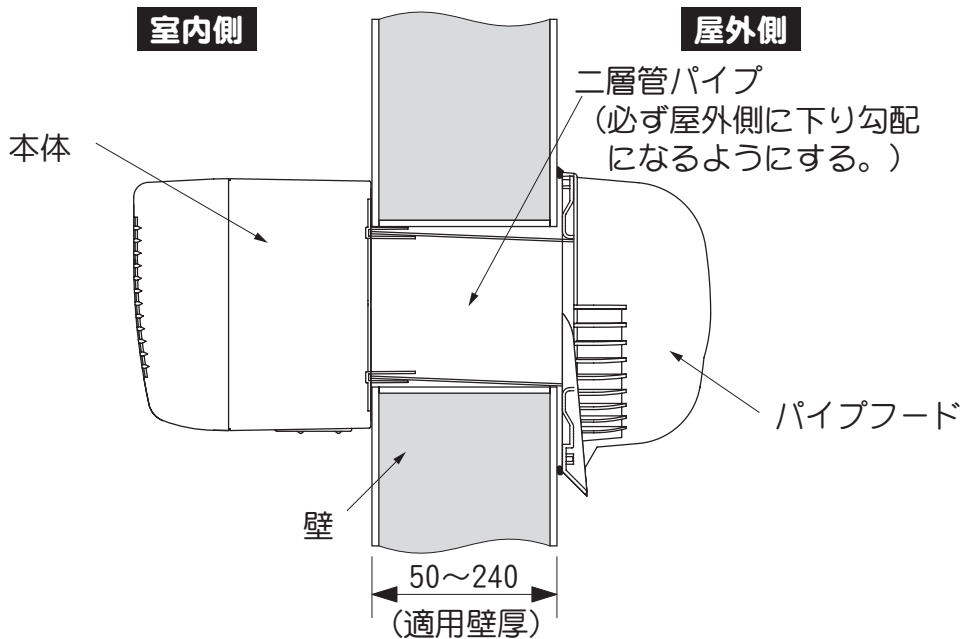
●パイプフード(ステンレス製)

●防火ダンパー付
パイプフード(ステンレス製)



※品番など詳細についてはカタログを参照してください。

取付参考図



取り付け方法 以下の手順に従って取り付けてください。

1. 壁穴工事

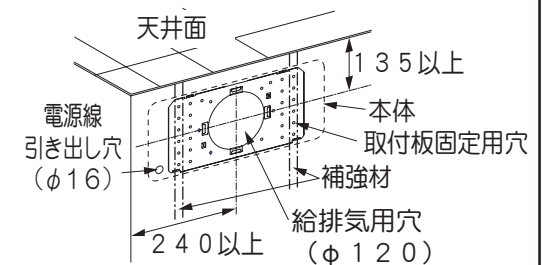
①本体の取り付け位置・給排気穴・電源線引き出し穴の位置を決める

(単位：mm)

- 取付用型紙を利用して取り付け位置を決める。
- 給排気穴と電源線引き出し穴と、取付板固定下穴に印をつける。

注意

- 取付板には取り付け用の穴がいくつかありますが、補強材に固定できる穴をつかってください。
- 固定ねじ4本を補強材に固定できない場合、ほかのねじはアンカープラグをご使用してください。
- 取り付けねじが1カ所に集まらないように、四すみに分散してください。

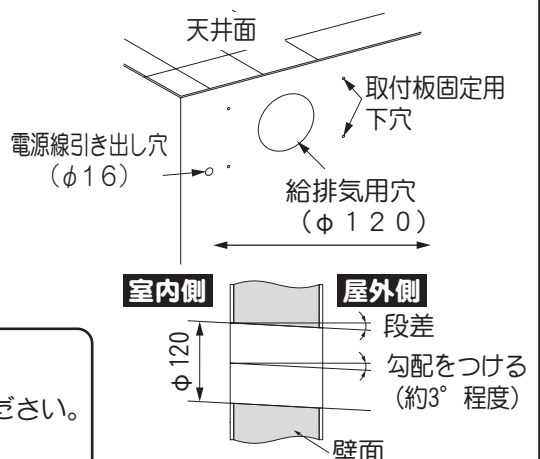


②穴をあける

- 給排気穴φ120をあける。
- 電源線引き出し穴φ16をあける。
- 壁面が石膏ボードかコンクリート等でアンカーを必要とする場合
 - アンカープラグ用下穴を4カ所あける。(下穴は使用するアンカーにより異なります。アンカーの説明書を参照してください。)

お願い

- 開口後、壁面にバリがでた場合は取り除いてください。
- 壁に給排気穴をあける際、必ず屋外側に勾配をとってください。(勾配をとらないと、雨水が室内側に流れます。)



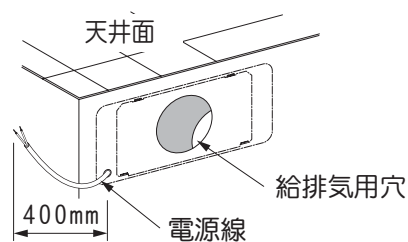
2. 電源線の引き出し

①電源線を引き出す

(1) 電源線を室内側に引き出す。

お願い

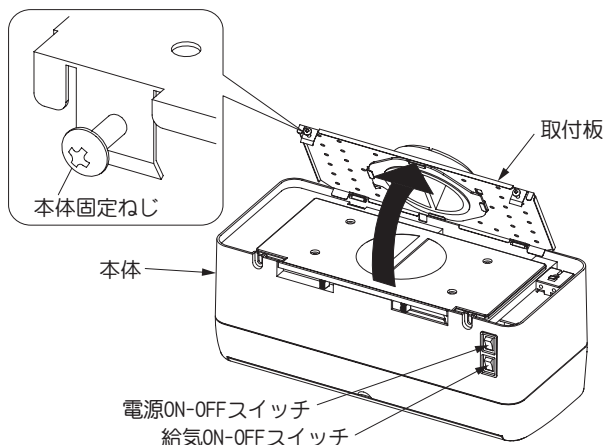
- 電源線はVVFφ1.6またはφ2.0をご使用ください。
- 電源線は室内側に約400mm引き出してください。



3. 取り付け前の準備

①取付板をはずす。

(1) 本体固定ねじ2本をゆるめて、固定ねじの方をもちあげ本体から取付板をはずす。
※本体固定ねじは、取り付ける時に必要です。

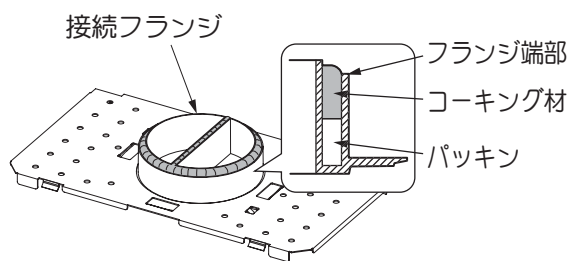


②コーキング材の塗布

(1) 接続フランジにコーキング材を塗布する。
(2) コーキング材が硬化する前に③、④の作業をおこなう。

お願い

- フランジ端部より高く塗布する。
(パイプを押し込んだときにコーキングしきれない場合があります。)
- コーキングをしないと雨水が浸入します。

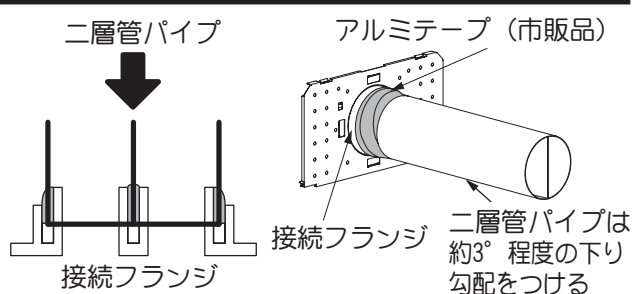


③接続フランジに二層管パイプを取り付ける

(1) 二層管パイプを接続フランジの溝の奥まで確実に入れる。
(2) 接続フランジと二層管パイプをアルミテープ(市販品)で貼り付けて固定する。

お願い

- 確実に固定しないと、雨水が浸入します。

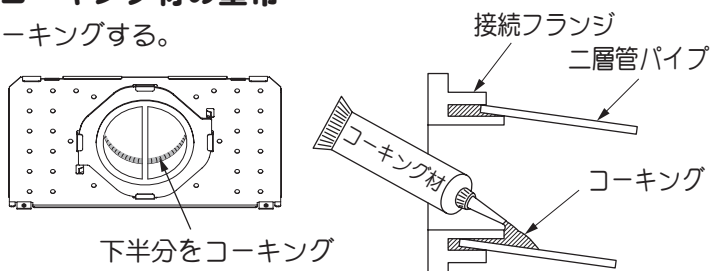


④接続フランジと二層管パイプ接続部にコーキング材の塗布

●接続フランジの内側から接続部の下半分をコーキングする。

お願い

- コーキングをしないと雨水が浸入します。
- コーキング材を付けたあと表面を平らにする。

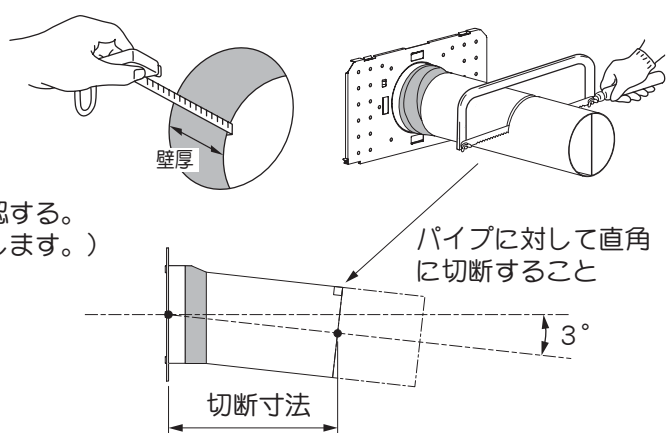


⑤二層管パイプを切断する

(1) 壁厚を測る。
(2) 二層管パイプを壁厚+10mmに切断する。
(3) 二層管パイプが室外側に傾斜しているか確認する。
(傾斜していないと、水の逆流や雨水が浸入します。)

お願い

- 必ず屋外側に下り勾配になるようにする。



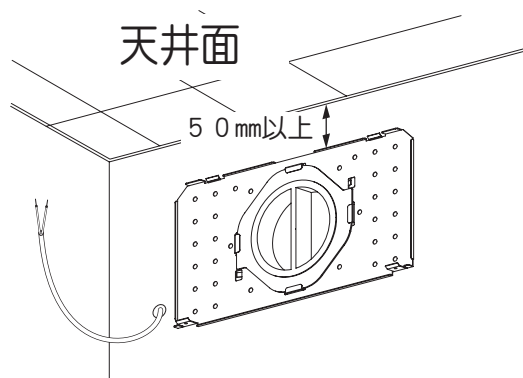
4. 取付板の取り付け

取付板を固定する

(1) アンカーを使用する場合は壁にアンカー(市販品)を打ち込む。
(2) 二層管パイプを壁穴に通す。
(3) 天井からの寸法(50mm以上)を確保して取付板を付属のねじ4本で固定する。

お願い

- 固定ねじはできるだけ四すみの均等な位置で固定する。

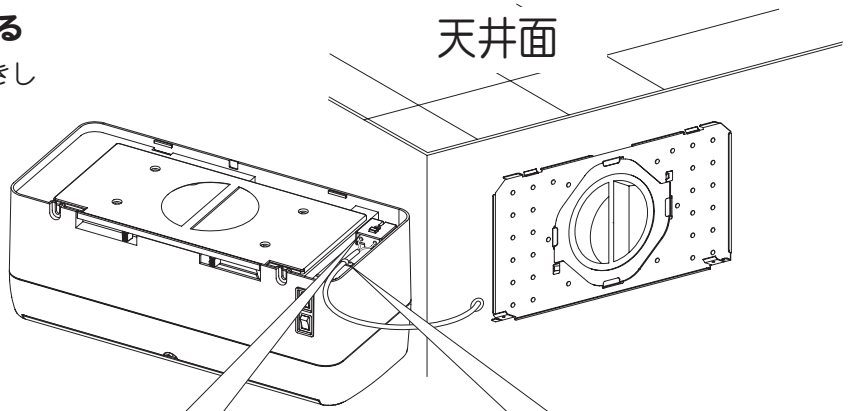
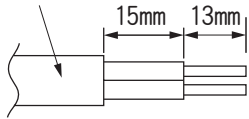


5. 電源線接続工事

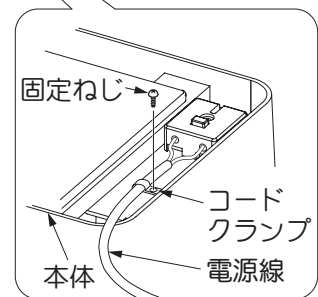
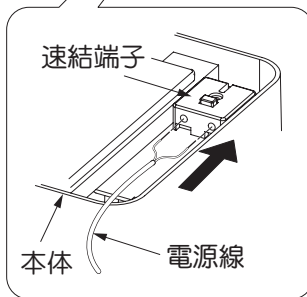
1. 電源線を速結端子に接続する

- (1) 電源線を下図のように皮むきし速結端子に差し込む。

電源線先端加工図
VVF φ1.6かφ2.0

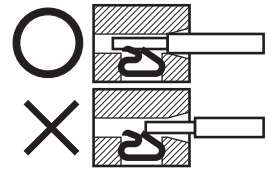


- (2) 本体に付属してあるコードクランプでVVFケーブルをねじで固定する。



警告

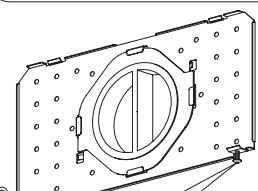
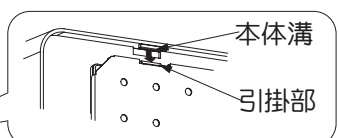
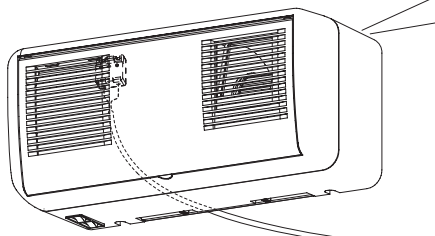
- 結線する場合、電線を奥までしっかりと差し込む。差し込み不十分な場合、発熱する恐れがあり、焼損や火災の原因となります。
- 皮むきした電線部分が電源端子外側に露出しないように確実に差し込む。感電や火災の原因になります。
- 右図は電源接続端子の内部図です。確実に差し込みされたときに、防塵される構造になっております。差し込み不良はトラッキング現象等の原因になります。



6. 本体の取り付け

1. 本体の固定

- (1) 取付板引掛部（上側）に本体を引っ掛ける。
(2) 本体を壁側に押しつけ、本体のU溝に固定ねじを入れ、固定ねじ2本で本体を固定する。

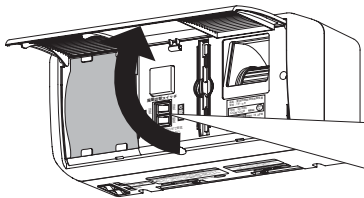


2. 風量の設定

- (1) 取り付ける部屋の広さに合わせてスイッチを設定する。

注意：2つのスイッチはかならず同じ設定する。
換気量のバランスがくずれ、効果的な換気ができません。

TTF-08	換気側	L	6畳
	給気側	L	
	換気側	H	8畳
	給気側	H	
TTF-12	換気側	L	10畳
	給気側	L	
	換気側	H	12畳
	給気側	H	



風量切替スイッチ

TTF-08の場合 TTF-12の場合

風量切替スイッチ

風量切替スイッチ



必ず部屋の大きさに合わせて排気・給気ともセットしてください。(0.5回/時) 必ず部屋の大きさに合わせて排気・給気ともセットしてください。(0.5回/時)

※出荷時は 換気側 H
給気側 H にセットしてあります。

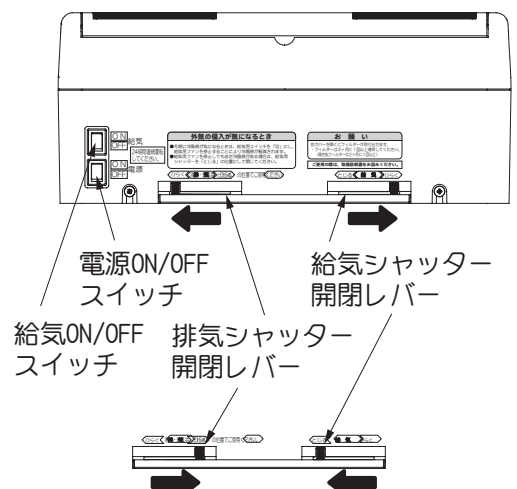
7. パイプフードの取り付け

パイプフードの工事説明書をご参照してください。

8. 試運転

1. できるかぎりお客様立ち会いのもと、試運転をおこなってください。

- (1) シャッターを開く。
給気側、排気側のシャッター開閉レバーを「開く」の位置まで、完全に開く。
- (2) 電源を入れる。
本体の電源ON/OFFスイッチ、給気ON/OFFスイッチを「ON」にする。
- (3) 異常な振動、異常音がないか確認する。
- (4) 確認後電源を切る。
本体の電源、給気用ON/OFFスイッチを「OFF」にする。
- (5) シャッターを閉じる。
給気側、排気側のシャッター開閉レバーを「閉じる」の位置まで、完全に閉じる。



2. この「工事説明書」は別添付の「取扱説明書」、「保証書」とともにお客様へお渡しする。

3. 試運転の結果をお客様に説明する。

お客様が不在の場合は、発注者または、管理人へ説明してください。